

9月1日は防災の日

日本の国土や風土は、常に災害と表裏一体に形づくられてきました。海の幸や山の幸、温泉なども地震や火山などの地殻変動、そして台風や大雨・大雪などの気象現象とともに育まれてきました。

さまざまな災害が切迫・発生したときに、慌てることなく身を守ることができるよう、普段から備えることが大切です。

＼もしもの時に備えよう／

災害に備えて、家庭で取り組むことができる対策を紹介します。

食料・飲料などの準備

- ☐ 非常食3日分（アルファ米や乾パンなど）
- ☐ 飲料水3日分（1人3ℓ／日）
- ☐ 生活用品（携帯トイレ、トイレットペーパー、ティッシュなど）

※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましい。
※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなどの備えを。

非常用持ち出しバッグの準備

- ☐ 飲料水、非常食
- ☐ 貴重品（通帳、現金、マイナンバーカード など）
- ☐ 救急用品（ばんそうこう、マスク、消毒液、常備薬 など）
- ☐ 防災用ヘルメット、軍手
- ☐ 懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、携帯充電器
- ☐ 衣類、下着
- ☐ ブランケット、タオル
- ☐ 洗面用具、歯ブラシ、歯磨き粉、ウェットティッシュ、使い捨てカイロ
- ☐ 携帯トイレ、生理用品
- ※乳児のいる家庭は、ミルク、離乳食、紙おむつ、使い捨て哺乳瓶などを用意する

家具の置き方の工夫等

- ☐ 家具は壁に固定する
- ☐ 寝室や子ども部屋の家具は最小限にしておく。置く場合も背の低い家具にして、倒れた時に出口をふさがないように向きや配置を工夫する
- ☐ 電気復旧時に倒れた電気ストーブなどによる通電火災を防ぐため、感震ブレーカーなどを設置する
- ☐ 手の届くところに、懐中電灯、スリッパ、ホイッスルを準備する

他にも、家庭で必要なものは日頃から備えておきましょう。
（出典：首相官邸「災害が起きる前にできること」）

防災お役立ち情報

市では、災害時に市内の防災情報などを市公式ウェブサイトの他、次の媒体でも発信しています。ぜひご活用ください。

Yahoo! 防災速報（アプリ）

配信内容：避難情報、防災情報、緊急地震速報、豪雨予測 など



もばら安全・安心メール

配信内容：避難情報、防災情報、防災行政無線の放送内容、不審者等発生情報 など



電話・FAX配信サービス

（高齢者や障害をお持ちの方等が対象）

配信内容：避難情報

※希望の方は、防災対策課へご連絡ください。

防災行政無線テレホンサービス

☎0120(438)119

防災行政無線の放送内容を確認できます。（無料）

川の水位を確認

国では、河川の状況を撮影したライブカメラ画像等を発信しています。ぜひご活用ください。

川の防災情報（国土交通省）

ライブカメラ以外に洪水予報や川の水位情報なども掲載されています。



避難所の確認

市では、35カ所の指定緊急避難場所と29カ所の指定避難所を指定しています。もしもの時のために、事前に確認しておきましょう。

また、親戚や知人宅等も避難先として事前に検討しておきましょう。

